

大庄屋諏訪家屋敷を極める

プロが
教える

写真講座

通の間では知られた文化財の建物を撮影しませんか。

守山市指定文化財 大庄屋諏訪家屋敷を被写体に開催する写真講座です。
文化財という普段とは異なる空間で撮影した写真を展示し、建物の魅力を
伝えられるような撮影方法を学ぼう。



第1回 令和6年 5月25日【土】

第2回 令和6年 6月29日【土】

時間 9:00~12:00 (30分前受付開始)

受講者 ①一眼レフデジタルカメラ
一眼レフミラーレスデジタルカメラをお持ちの方
②カメラ撮影技術の上達を望む方
③必ず両日ともに参加できる方

内容 第1回 撮影編 第2回 講評編 (詳細は裏面に記載)

受講料 1セット9,500円 (受講料と半切プリント代込)
額希望の方は別途料金 (2,000円) が必要
(当日会場にて現金にてお支払いください)

定員 先着10名 (要事前申込)

会場 滋賀県守山市赤野井町171-1 大庄屋諏訪家屋敷

申込 電話のみ受付。4月25日(木)午前10時から受付開始 (定員になり次第受付終了)
電話: 077-516-8160 ※裏面の注意事項を必ずご確認の上、お申込み下さい。

講師

Ogasawara Toshitaka

小笠原敏孝 氏

魅きだす写真家



主催: 公益財団法人守山市文化体育振興事業団 大庄屋諏訪家屋敷

講座内容

第1回

撮影編—文化財の建物をモデルに！

大庄屋諏訪家屋敷の説明を受けた後、「建物」をテーマに写真撮影を実施。
(ステキな写真を撮るポイントなど、講師の指導あり)

第2回

講評編—撮った写真を具体的にアドバイス。

1回目の写真の講評。講評後撮影展示に向けた写真選び

展示

11月2日(土)～11月10日(日) 大庄屋諏訪家屋敷内にて展示

講師紹介

1969年 滋賀県大津市生まれ

東京工芸大学卒業後、写真家・安達洋次郎氏に師事。

2010年4月、「スタジオ桜」を設立。

茶道、古美術品、伝統文化、神社仏閣、仏像、琵琶湖の風景写真など幅広い被写体を撮影している。

2021年「裏千家今日庵の茶室建築」(淡交社刊)他。

シリーズ「花の貌(かたち)」はライフワーク作品。

公益社団法人日本写真家協会会員。

写真講座注意事項

必ずご確認の上お申し込み下さい

◇撮影について

撮影時、三脚の使用は禁止です。受講中の事故などにつきましては責任を負いかねます。

◇料金、申込について

必ず2回とも参加できる方。

一度お支払いいただいた料金は返金いたしません。ご了承ください。

受講料は第1回受講日に現金にてお支払いとなります。

額を希望される方も1回目の受講日に、額代と合わせてお支払いとなります。

◇展示について

作品は半切サイズ(356mm×432mm)

作品は肖像権、著作権に抵触しないようご注意ください。

展示中、破損、盗難などの責任は負いかねます。

作品は展示後、返却いたします。大庄屋諏訪家屋敷まで引き取りをお願いいたします。

◇額について

額希望の方は購入できます。額をお持ちの方は、お持ちの額でも展示可能です。

◇写真データについて

第1回の撮影後、参加時に撮られた写真データをお預かりいたします。

お預かりした写真は、大庄屋諏訪家屋敷の宣伝などに使用させていただくことがあります。

◇写真の商用利用について

商用利用は禁止しております。

※申込時にいただいた個人情報は、緊急連絡等に使用し、第三者に提供することはありません。

主催・お問い合わせ

公益財団法人守山市文化体育振興事業団 大庄屋諏訪家屋敷

HP：<https://www.moriyamabuntai.com/suwake>

滋賀県守山市赤野井町171-1 電話 077-516-8160

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)

休館日：火曜日・祝日の翌日(その日が土日祝日の場合はその翌日)

駐車場のご案内

